

作成日：西暦 2025 年 12 月 19 日

2023 年 1 月から 2025 年 12 月に産業医科大学病院又は
産業医科大学若松病院において真菌関連肺疾患と診断された
患者さんおよびご家族へのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年 3 月 23 日制定 令和 3 年 6 月 30 日施行）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

真菌関連肺疾患における微生物叢解析と患者背景の後方視的検討

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 12 月 31 日

3. 研究機関

産業医科大学、産業医科大学若松病院

4. 研究責任者

産業医科大学医学部呼吸器内科学 学内講師 池上 博昭

5. 研究の目的と意義

この研究は産業医科大学医学部呼吸器内科学 学内講師 池上 博昭を研究責任者とする単機関での臨床研究です。

真菌関連肺疾患には、真菌による感染症やアレルギー性疾患が含まれます。診断のための主な検査として、真菌の菌体成分を調べるための血液検査や、喀痰・気管支洗浄液・手術検体などを培養して真菌を抽出する培養検査、また顕微鏡で菌体を観察する病理検査などがありますが、原因となる真菌の菌種を同定することは未だに難しく、診断や治療に難渋することも少なくありません。

[目的]

真菌関連肺疾患の原因真菌を、分子生物学的な手法（真菌の遺伝子配列を明らかにする）で正確に同定し、真菌が人体に与える影響を解析します。

[意義]

この研究を行うことで診断率の向上や感染症対策の改善が期待されます。

6. 研究の方法

産業医科大学病院において微生物検査を行い真菌が確認された患者さん、および産業医科大学若松病院で治療継続した患者さんの気管支洗浄液などの残余検体である試料、データ（真菌などの微生物、基礎疾患などカルテ情報）を集積し解析・検討します。

7. 個人情報の取り扱い

個人情報の公開はいたしません。データおよび試料の解析の際には対象者を特定できないように氏名、住所などの個人情報を全て加工します。この研究で得られたデータは、論文等の発表後 10 年間保管し、試料は論文等の発表後 5 年間保管します。保管期間終了後、情報は復元できない方法で消去・廃棄し、試料は医療廃棄物として廃棄することで、個人情報が外部に漏れないように対処します。

この研究への参加の拒否は自由です。診療情報等の利用について拒否される場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。この研究から対象外とさせていただきます。

8. 問い合わせ先

産業医科大学医学部呼吸器内科学講座 先成このみ TEL : 093-603-1611 (代表)
(月曜～金曜 9:00-17:00)

9. その他

研究への参加に対する直接的な利益はありません。また、費用の負担や謝礼もありません。この研究は産業医科大学講座研究費および奨学寄附金で行われ、一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。